

総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和4年7月12日(火)
- II 会議時間 午前10時00分～午前10時09分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎高岡 宏和 ○山口 泰祐 田中 勝文
出町 讓 中村 清志 中川加津代
坂林 永喜 上田 武 曾田 康司
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] ※坂林 永喜議長は委員として出席
- [副議長] 本田 利麻
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] 山上 尊士
- [事務局職員] 西本 幸夫 高嶋 史恵 堀田 寛之
- [傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[総務部]

- 令和3年度高岡市会計別決算見込額(速報値)

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

2 その他

- 行政視察について

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら検討することが報告された。

〈 委員から次の質疑があった。 〉

(以下、質疑・質問内容は○、答弁内容は△で表示)

【児童生徒の水難事故防止について】

- 児童生徒の水難事故防止のために、どのような指導をしているのか。
- △ 各学校では、海や川での水遊びなど、夏季特有の遊びや活動について、子供だけでは海や川に行かないこと、万が一の場合は、近くの大人に助けを求めることなど、危険性や緊急時の対応について、学級活動や集会等を通して指導している。特に用水については、転落した場合、大きな事故に繋がりにかからないことから、絶対に近づかないこと、用水では遊ばないことなどの指導も行っている。また、水泳の授業においては、入水前に体の調子を確認すること、プールの使用の注意事項を守ることなどの心得を随時指導し、プールでの事故が起きないように指導している。なお、着衣のまま水に落ちた場合の対処について学ぶ、着衣水泳については、各学校の実情や実態に応じて、実技に限らず、動画やビデオなども活用しながら実施している。加えて、初任の教員については、県が実施している初任者研修において、これらのことについて研修を行っている。夏休みを間近に控え、児童生徒の水の事故防止について、学年だよりや生徒指導関係のたよりを通じて、保護者にも注意喚起を行っている。今後とも、児童生徒の水難事故防止への意識を高め、事故防止に努めたい。
- 子どもたちだけでなく、保護者に対しても、危険性の周知を徹底すべきと考えるが、見解は。
- △ 保護者会が来週あることから、学年だよりや事故防止を含めた内容を記載している生徒指導関係だよりを保護者に配付し、注意喚起を行うなど、周知の徹底に努めたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

